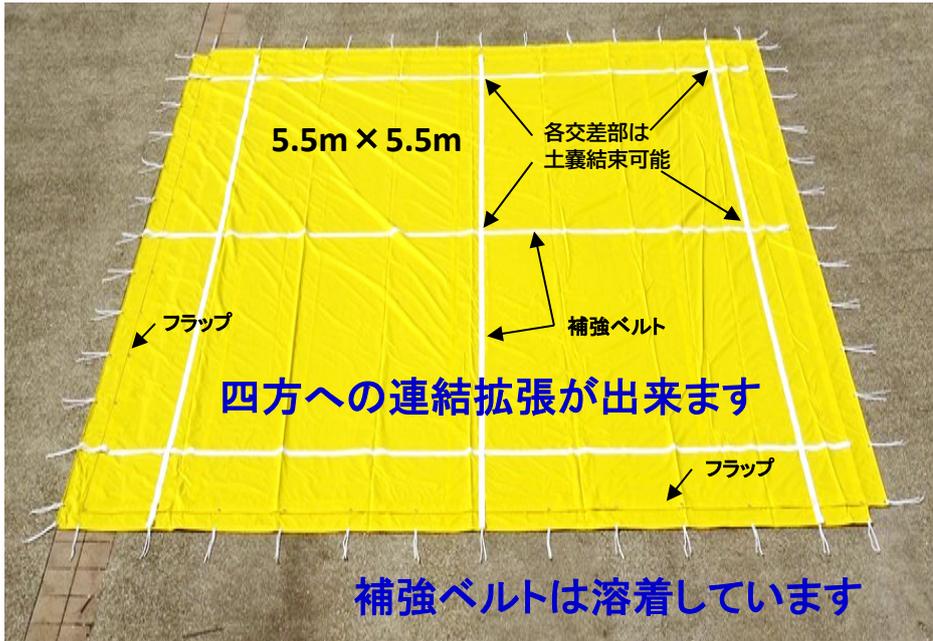


## 技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">安全・防災</span> 維持管理  環境  コスト  ICT  品質 <span style="float: right; color: red;">（該当分類に○を付記）</span>																
技術名称	高耐久保護シート 防災イエローシート	担当部署	総販売代理店（株）HINATA														
NETIS登録番号	QS-200048-A	担当者	川添 員也(かわぞえ かずや)														
社名等	株式会社トータル環境	電話番号	03-6326-7866 Email: K.Kawazoe@bcc-kk.com														
技術の概要	<p><b>1. 技術開発の背景及び契機</b></p> <p>災害時の応急復旧で法面等の崩壊箇所や崩壊の恐れのある箇所を保護するためにブルーシート(防水シート)が一般的に利用されている。気象変動による災害は広範囲に渡るため、復旧に着手するまでの待機時間は思った以上に長くなる。</p> <p>その間に一般的なブルーシートは経年劣化により破損したりめくれあがったりしてしまい、再度新しいブルーシートで養生工事を行なわねばならなくなっているのが実態である。</p> <p>よって保護シートはより強度が強く、より経年劣化に耐える材料であることが望ましい。</p> <p>またシート同士を連結して、拡張できるようになっていれば面展開可能な養生ができる。</p> <p><b>2. 技術の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のポリエチレンシートから耐久性の高いターポリンシートとした。</li> <li>・ターポリンシートに補強ベルト(高強度ターポリン)を格子状に溶着し、強度の高いシートとした。</li> <li>・シートの端部に補助シート(フラップ)を溶着し、外周部を2重接合構造として、連結できるようになっており、面展開ができる拡張性を持たせた。</li> <li>・シートの色が黄色で注意喚起ができ、表面は防汚処理を施したものとした。</li> </ul> <p><b>3. 技術の効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートの耐久性が高いため、長期間の応急復旧に対応できる。また、繰り返し使用することにより、産業廃棄物の縮減が期待できる。</li> <li>・シートの強度が高く破れにくく、単管パイプ等を用いて地山等に強固に固定できるため、シートのまくれの抑制に期待できる。</li> <li>・シートの接合部からの雨水の進入や、まくれを防止できるため、応急復旧箇所の確実な保護が期待できる。</li> <li>・シートの色を黄色としたことにより、応急復旧箇所等の危険箇所の注意喚起を促すことができる。</li> </ul> <p><b>4. 技術の適用範囲</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>①適用可能な範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応急復旧で法面等の崩壊箇所や、崩壊の恐れのある箇所</li> <li>・盛土や切土法面の一時的な養生</li> <li>・仮設盛土や残土の養生</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応急復旧が長期間と予想される場合</li> <li>・注意喚起が必要な現場</li> <li>・被災家屋の養生</li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>5. 活用実績</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">国の機関</td> <td style="width: 15%;">26 件</td> <td style="width: 15%;">(九州 24件</td> <td style="width: 15%;">、九州以外 2件 )</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>(九州 0件</td> <td>、九州以外 0件 )</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>10 件</td> <td>(九州 7件</td> <td>、九州以外 3件 )</td> </tr> </table>			<p>①適用可能な範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応急復旧で法面等の崩壊箇所や、崩壊の恐れのある箇所</li> <li>・盛土や切土法面の一時的な養生</li> <li>・仮設盛土や残土の養生</li> </ul>	<p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応急復旧が長期間と予想される場合</li> <li>・注意喚起が必要な現場</li> <li>・被災家屋の養生</li> </ul>	国の機関	26 件	(九州 24件	、九州以外 2件 )	自治体	0 件	(九州 0件	、九州以外 0件 )	民間	10 件	(九州 7件	、九州以外 3件 )
<p>①適用可能な範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応急復旧で法面等の崩壊箇所や、崩壊の恐れのある箇所</li> <li>・盛土や切土法面の一時的な養生</li> <li>・仮設盛土や残土の養生</li> </ul>	<p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応急復旧が長期間と予想される場合</li> <li>・注意喚起が必要な現場</li> <li>・被災家屋の養生</li> </ul>																
国の機関	26 件	(九州 24件	、九州以外 2件 )														
自治体	0 件	(九州 0件	、九州以外 0件 )														
民間	10 件	(九州 7件	、九州以外 3件 )														

6. 写真・図・表

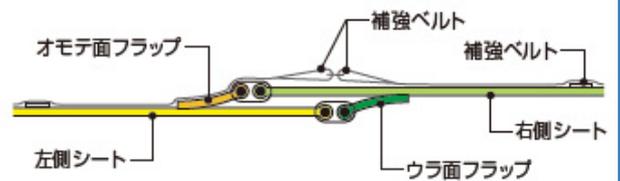
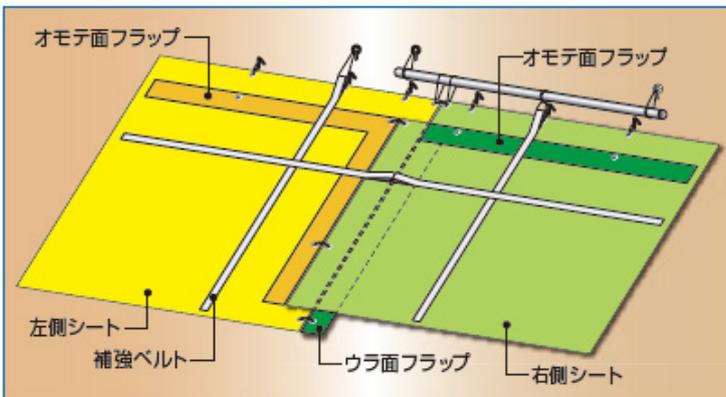


ラインナップ	
Aタイプ	5.5m × 5.5m
Bタイプ	5.5m × 10m
Cタイプ	10m × 10m

シート外観



外周は杭打ちアンカーで単管を固定し、それに補強ベルトを結束する。



概要図は部位別に配色を変えましたが、シート色は黄色です。

接合部は、シート端部と隣接シートのフラップを各々接合した上で、補強ベルトのループエンド同士を結束する。



株式会社トータル環境